

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.18  
令和3年11月6日  
文責：校長 松野克己

## 1~4年生バス旅行 三年生

3年生は、宇宙科学館と消防署に行きました。宇宙科学館では、大きなシャボン玉に入ったり、フライトシュミレーターで飛行機の操縦を体験したり、楽しい体験がたくさんできました。他の学校からもバス旅行で来ていましたが、距離を取って並んだり、歩いて行動したり、ルールを守って遊ぶことができました。



遊んだあとは、待ちに待ったお弁当です。好きなものが色々入っていたり、おにぎりがかわいいキャラクターの形をしていたり、おいしそうなお弁当ばかりでした。お弁当の後は、「宇宙ペンギン、奇跡の地球（ほしへ）」という番組をプラネタリウムで鑑賞しました。初めてプラネタリウムを体験する子どもも多く、部屋に入って「わあー。」、暗くなって「わあー。」、映像が流れだして「わあー。」と、驚きと喜びの声が子どもたちから聞こえました。番組を通して、地球がどれだけ素晴らしい星なのかを感じることができたようです。

唐津消防署では、2人の消防士さんに消防署にある車とそれぞれの車もつ

役割の説明を受けたり、実際に化学車や水難救助車の中を見せてもらったりしました。子どもたちは、これから社会で消防署の学習をします。そのため、みんな真剣にメモを取っていました。このメモが、これからの学習にとっても役立つと思います。質問もたくさんできました。最後に消防士さんから「将来消防士になりたい人？」と聞かれ、2、3人の子どもが手を挙げました。将来が楽しみです。



宇宙科学館から帰るとき、「もっと遊びたかった!!」「時間足らんやった。」との声がたくさんありました。休みの日にまたおうちの方と遊びに行けるといいですね。

## 四年生

いつもより早く教室に来た子ども達は、お弁当やおかしの話を楽しそうにしていました。バス旅行をとっても楽しみにしているのがよく伝わってきました。バスの中では、「鬼滅の刃」や「ドラえもん」のDVDを見ながら静かに過ごしました。

最初に行ったのは佐賀県庁です。バスを降りる前から「建物高〜い」「部屋はいくつあるのかな」「ここ何人おらすと」等、興味津々の様子でした。係の方に、旧館にある県庁クラスでの佐賀県についてのお話や展望台からの眺めを楽しみました。

次に、佐賀県庁から歩いて「佐賀バルーンミュージアム」へ行きました。まずは、映像でバルーンフェスタの競技や、参加選手と佐賀の人達との国際交流について知りました。そして、2階にある展示スペースを見学しました。実物大のバスケットや、自分の顔がバルーンになる映像アトラクションなど子ども達の興味



をひくものが多く展示されていました。他にも、クイズラリーやバルーン





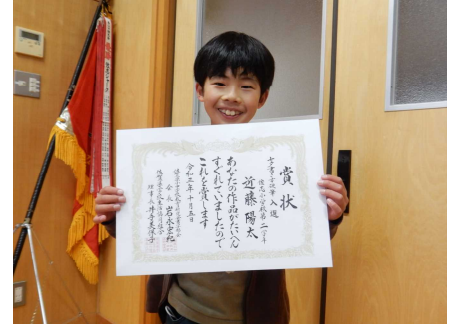
ン飛行のシミュレーションなど、みんな時間いっぱい楽しみました。

最後は、「水ものがたり館」です。まずは、お楽しみのお弁当の時間です。昼食休憩が30分という短い時間でしたが、子ども達はお家の人に準備していただいたお弁当やおかしをうれしそうに食べました。その後、佐賀市の水の発展につくした成富兵庫茂安とその功績について話を聞き、天狗の鼻や象の鼻を見学しました。子ども達は、昔の佐賀の人々の技術の高さに驚いていました。

## 硬筆県入選おめでとう

学校だよりNO.15でお知らせしていた七夕書き方会県入選の2年近藤陽太さんの賞状

が届いたので、校長室で表彰をしました。さすがに県の入賞レベルになると、文字の形のよさに勢いが感じられます。作品は12月4日の土曜授業日に合わせた授業参観までは、3年生教室付近に掲示しておきます。ぜひ、ご覧ください。



## 進級・進学に向けて・・・

11月5日(金)の朝、放送による全校朝会をしました。毎回「校長の話」を最初にするのですが、今回は私が出張で不在でしたので、原稿を準備し、教頭先生に代読してもらいました。内容は3つ。1

つ目は「進級、進学に向けての心構え」、2つ目は「相手の目を見て挨拶を」、3つ目は、今月は教育委員会や他校からの参観が多いことから「お客さんを迎える準備を」というものです。そのうちの2つを掲載します。ご家庭でもお子さんとの話題にさせていただくとありがたく思います。



1つめです。みなさんが今の学年、今の学級で過ごすのはあと5ヶ月もありません。先日、みなさんは「あゆみ」をもらって見たはずですが。その中で、自分のできていることや、努力が必要なことに気づいたでしょうか。特に生活の様子で△のあったことは、後期のあゆみでは○になるように、頑張りたいと願っています。残り5ヶ月で、みなさんは進級します。その進級に向けて、今から意識して自分を高めて欲しいのです。おそらく6年生はすでにそういう意識があることでしょう。言うまでもなく、皆さんは進級ではなく進学、つまり中学生になります。中学生は小学生に比べ、任されることが多くなります。その分、自分の言動に対する責任が重くなります。義務教育の残り3年間であり、中にはその後社会人になる人もいますから、当然のことです。今から中学生になる意識を高め、今の自分の言動に責任をもってください。5年生はあと5ヶ月で佐志小学校の最上級生として下級生を引っ張る立場になりますから、やはり今のうちからその心構えを作っていくてください。4年生以下のみなさんも1つずつ学年が上がります。今、できていないことが少しでもできるように頑張ってください。

2つめです。校長先生はみなさん一人一人とあいさつをしたいという気持ちから、今は児童玄関の中であいさつをしています。皆さんとあいさつを交わすのは、なんとなく楽しい気持ちになります。気持ちのいいあいさつを聞くと、嬉しい気持ちになります。高学年の多くの方は自分から先に、しっかりとあいさつをしてくれるので、こちら自然と笑顔になります。低学年や中学年の中にもあいさつが上手な人がいますね。ただ、残念なあいさつもあります。それは「目を合わせてくれない」あいさつです。「目は口ほどに物を言う」ということわざがあるように、目を合わせることで気持ちが通じ合うことがあります。私たちは生きている間、ずっとあいさつをしていくわけですから、ぜひ、今のうちに目を合わせてあいさつのできる人になってください。

